

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果と考察

阿波市教育委員会

1 はじめに

令和7年度全国学力・学習状況調査が、全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に実施されました。

本市におきましては、阿波市全体の結果概要と改善の方策等について、広く市民の皆様にご公表し、保護者や地域の方々からご意見等をいただくことにより、今後の学力向上施策に反映していきたいと考えております。ご理解・ご協力くださいますよう、お願いいたします。

2 全国学力・学習状況調査の概要について

(1) 調査対象

小学校第6学年及び中学校第3学年の児童生徒

(2) 調査内容

ア 教科に関する調査

(ア) 小学校調査は、国語、算数及び理科とし、中学校調査は、国語、数学及び理科とする。

国語、算数・数学及び小学校理科は、冊子を用いた筆記方式で実施する。中学校理科は、生徒が活用するICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステムによるオンライン方式(以下「CBT」(= Computer Based Testing)という。)で実施する。

(イ) 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

(ウ) 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

イ 質問調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査を、児童生徒の活用するICT端末等を用いたCBTで実施する。

(3) 実施日

令和7年4月17日(木)

※児童生徒質問調査及び中学校理科の実施日については、各校で異なる。

3 調査結果

(1) 教科に関する調査結果

① 国語について

○ 小学校

平均正答率が全国平均を下回っております。課題が見られた出題内容としては、「目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること」や「目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること」が挙げられます。

○ 中学校

平均正答率は、ほぼ全国水準です。課題が見られた出題内容としては、「自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと」や「文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えること」が挙げられます。

② 算数・数学について

○ 小学校

平均正答率が全国平均を下回っております。課題が見られた出題内容としては、「二次元の表から、条件に合った項目を選ぶこと」や「小数の加法について、数の相対的な大きさをを用いて、共通する単位を捉えること」、「伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだすこと」が挙げられます。

○ 中学校

平均正答率が全国平均を少し下回っております。課題が見られた出題内容としては、「素数の意味を理解すること」や「統一的・発展的に考え、条件を変えた場合について、証明を評価・改善すること」、「証明を振り返り、証明された事柄を基にして、新たに分かる辺や角についての関係を見いだすこと」が挙げられます。

③ 理科について

○ 小学校

平均正答率が全国平均を下回っております。課題が見られた出題内容としては、「乾電池のつなぎ方について、直列つなぎに関する知識が身に付いていること」や「ヘチマの花のつくりや受粉についての知識が身に付いていること」、「赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、赤玉土の量と水の量を正しく設定した実験の方法を発想し、表現すること」が挙げられます。

○ 中学校

平均IRTスコアは、ほぼ全国水準です。課題が見られた出題内容としては、「化学変化に関する知識及び技能を活用して、実験の結果を分析して解釈し、化学変化を原子や分子のモデルで表すこと」や「地域の言い伝えを科学的に探究する学習場面において、大地の変化と、地層の様子やその構成物に関する知識及び技能を関連付けて、地層の重なり方や広がり方を推定すること」が挙げられます。

(2) 質問紙調査の結果

○ 学習時間

「学校の授業時間以外に普段（月曜日から金曜日）、どれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間を含む）」の項目では、阿波市の小学6年生の場合、3時間以上、2～3時間と回答した割合は、全国平均を下回っていますが、1～2時間と回答した割合は37.6%で、全国平均の29.1%を上回っております。

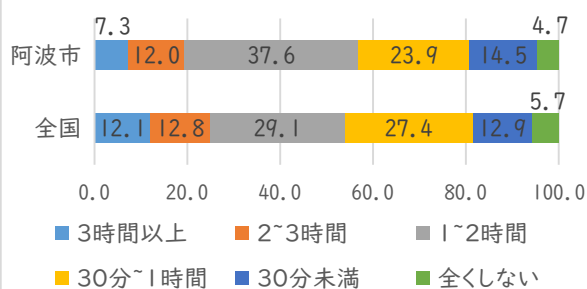
中学3年生の場合、3時間以上と回答した割合は、全国平均を下回っていますが、2～3時間、1～2時間と回答した割合は、それぞれ24.3%、41.0%で、全国平均の20.9%、30.8%を上回っております。

一方、「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間を含む）」の項目では、阿波市の小学6年生の場合、4時間以上と回答した割合は全国平均を下回っていますが、3～4時間、2～3時間、1～2時間と回答した割合は、それぞれ5.6%、12.8%、32.1%で、全国平均の4.4%、9.7%、25.6%を上回っております。

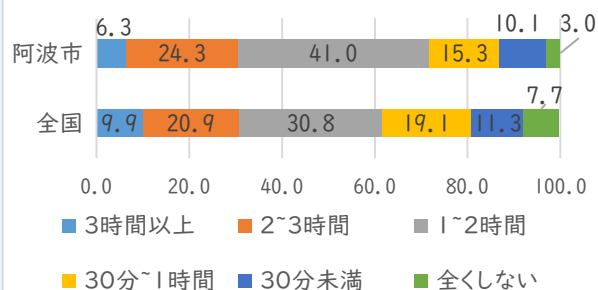
この結果は、中学3年生も同様であり、4時間以上と回答した割合は全国平均を下回っていますが、3～4時間、2～3時間、1～2時間と回答した割合は、それぞれ9.0%、24.6%、32.5%で、全国平均の8.5%、18.7%、25.4%を上回っていました。

また、平日、休日ともに、家庭学習を全くしないと答えた割合についても、本市の小学6年生、中学3年生ともに、全国平均を下回っているという結果が出ております。

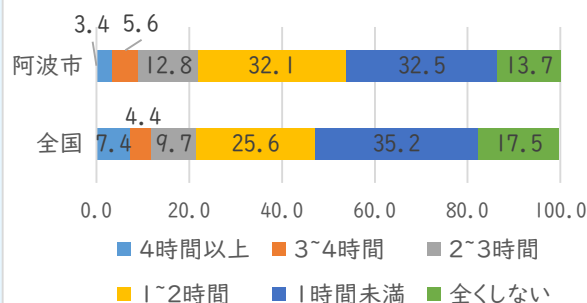
平日1日の勉強時間（小学校）



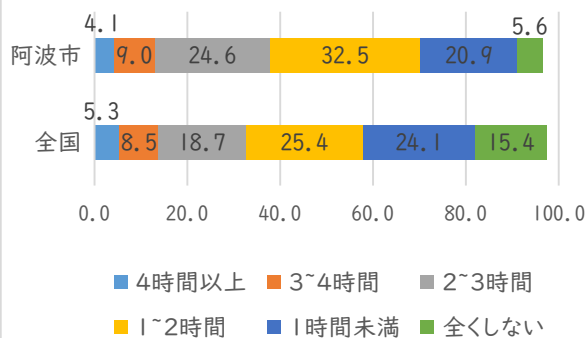
平日1日の勉強時間（中学校）



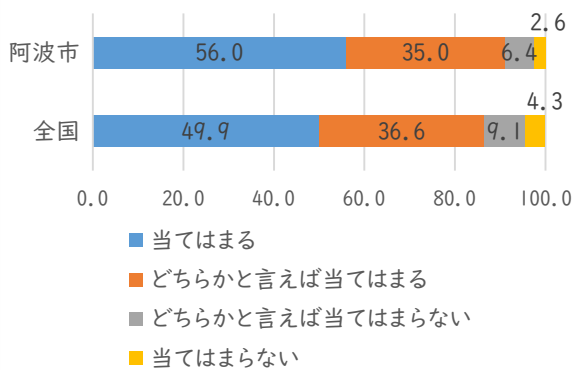
土日1日の勉強時間（小学校）



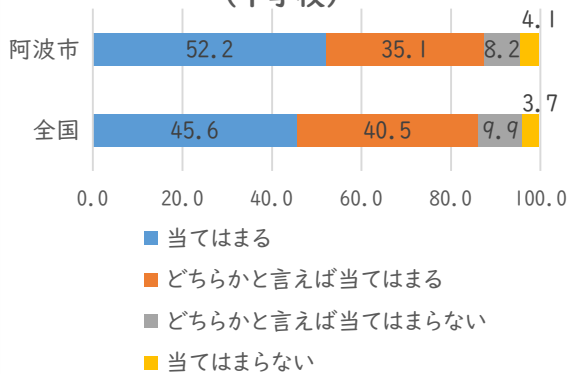
土日1日の勉強時間（中学校）



学校に行くのは楽しいと思いますか
(小学校)



学校に行くのは楽しいと思いますか
(中学校)



○ 自分には、よいところがあると思いますか

「自分には、よいところがあると思いますか」の項目では、阿波市の小学6年生の場合、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合は、それぞれ43.2%、42.7%で、両方の数値を合わせると、85.9%で、全国平均を少し下回っています。

一方、阿波市の中学3年生の場合、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合は、それぞれ45.9%、41.0%で、両方の数値を合わせると、86.9%で、全国平均を少し上回っています。

今後も全ての教育活動を通じて、児童生徒が小さな成功体験を積み重ねることによって、自己有用感や自己肯定感の育成が図られるよう努めてまいります。

○ 学校に行くのは楽しいと思いますか

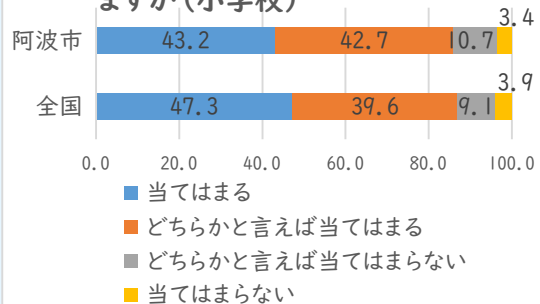
「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目では、阿波市の小学6年生の場合、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合は、それぞれ56.0%、35.0%で、両方の数値を合わせると、91.0%でした。

また、阿波市の中学3年生の場合、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合は、それぞれ52.2%、35.1%で、両方の数値を合わせると、87.3%でした。

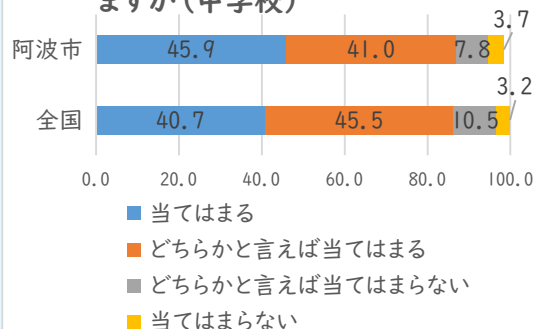
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合を合わせた数値は、小学6年生・中学3年生ともに、全国平均を上回っていますが、「どちらかといえば当てはまらない」や「当てはまらない」と回答した児童生徒が、一定数見られます。

したがって、今後も、児童生徒が楽しいと感じる授業や教育活動の充実を図っていくことが重要であると捉えています。

自分には、よいところがあると思いますか (小学校)



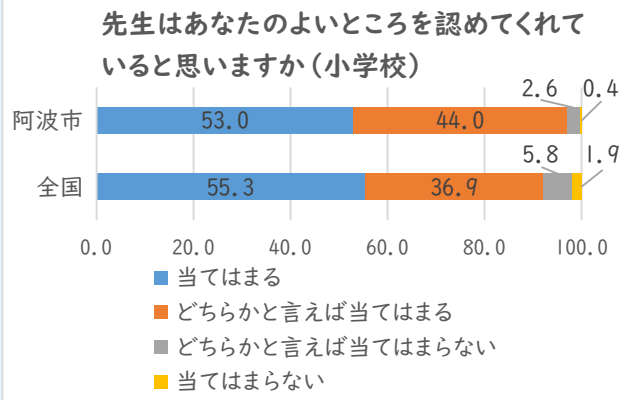
自分には、よいところがあると思いますか (中学校)



○ 先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか

「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の項目では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した小学6年生の割合は、阿波市が97.0%、全国平均が92.2%でした。中学3年生では、阿波市が92.9%、全国平均が92.2%でした。

小学6年生、中学3年生、ともに全国平均を上回っていました。

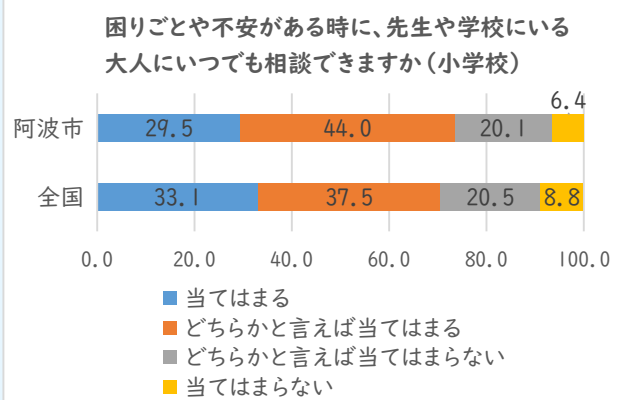
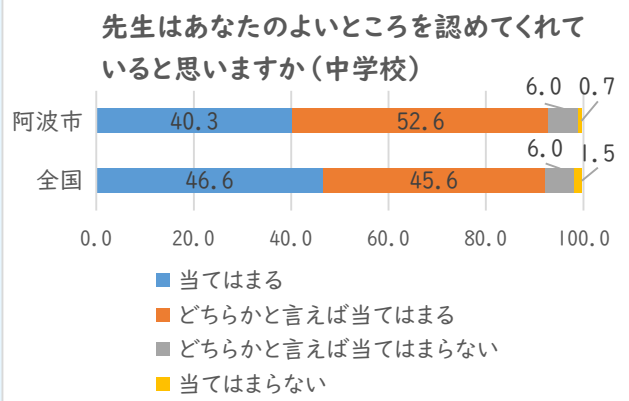


○ 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか

「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」の項目では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した小学6年生の割合は、阿波市が73.5%、全国平均が70.6%で全国平均を上回っていました。

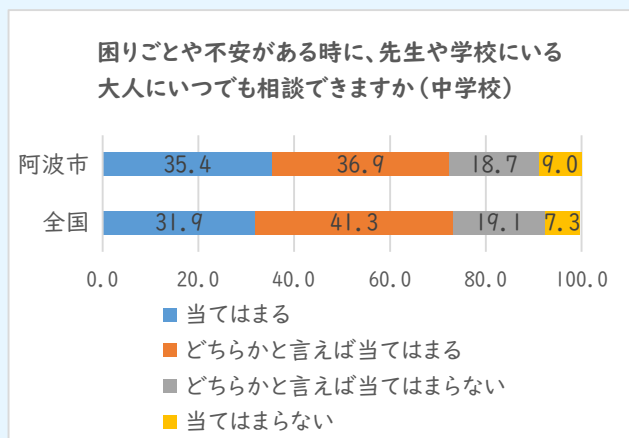
一方、中学3年生では、阿波市が72.3%、全国平均が73.2%で、全国平均を下回っていました。

今後は、家庭や専門機関との連携強化をより一層図りながら、安心できる相談体制の充実に努めていく必要があると捉えています。



以上の結果から、おおむね阿波市内の児童生徒は、楽しく学校に通い、安全・安心な教育環境の中で、学校生活を送ることができていると思われます。

また、学習時間については、小学生、中学生のいずれの場合においても、全国平均と比較しても遜色なく、各家庭において一定時間確保されていることが分かりました。



4 阿波市の学力向上への取組方針

- 学力向上のための研修会を実施し、指導方法の工夫改善に努めます。
- 学力向上推進講師を派遣し、TT指導や個別支援を行います。
- ICTを活用した学力向上のための取組を推進します。
- 学力向上推進コーディネーターが学力向上推進講師への助言を行います。
- 授業公開や研修会等を実施し、小・中学校の連携体制の構築を進めます。
- 読書活動の推進を図り、児童生徒が読書を通して言語に関する興味や関心を高める取組を促進します。
- 家庭と連携して、家庭学習の充実を図ります。

5 保護者・地域の皆さんへ

子どもたちの学力向上に向けて、生活リズムを整え、学習習慣や読書習慣を身に付けるためには、学校と家庭や地域が連携しながら進めることが大切です。

今後とも、家庭学習の充実や基本的な生活習慣の確立に向けて、次の点について、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

- 家庭で学習する習慣を身に付けさせましょう。
 - ・毎日決まった時間に学習するなど、計画を立てて学習すること。
 - ・学校の宿題を確実にすること。
 - ・予習、復習に取り組むこと。
 - ・学習に集中できる環境をつくること。
- 基本的な生活習慣を身に付けさせましょう。
 - ・早寝・早起き・朝ごはんを習慣付けること。
 - ・家族のふれあいや話し合いの時間を設けること。
 - ・テレビゲームやスマホなどの使用についてのルールを決めること。
- 新聞や本を読む習慣を身に付けさせましょう。
 - ・親子読書や読み聞かせなど、新聞や本に親しむ環境をつくること。
 - ・新聞や本を読むことで、読解力や語彙力を高めること。
 - ・社会の出来事に興味を持ち、一般的な知識を身に付けること。